

<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<p>本研究は、大学院現代沖縄研究科沖縄・東アジア地域研究専攻の事例研究コロキウム（「沖縄地域事例研究Ⅱ」・「東アジア地域事例研究Ⅰ」）を利用し、県内外の人文学領域の先端的な沖縄研究・アジア研究に関する報告をおこない、その討議を通じて、沖縄学および沖縄研究、アジア研究の地域学の研究主体の養成と学際的发展のための方法論について検討することを目的とする。</p> <p>また本学大学院生の修士論文の研究テーマに則して、研究主体養成と大学院教育の付加価値を意識して、先端的な研究報告を受けて討議した。さらに、沖縄において関心の高いテーマを選択し、市民に開かれた研究を展開した。</p> <p>具体的には、研究主体が自主的にコロキウム等を運営し、その方法を身につけることや、先端的研究や萌芽的研究の報告等に際し、関連する文献の共同討議を通じて研究成果を理解することにつとめた。</p> <p>2020 年度における公開研究会は以下の通りである。</p> <p>なお公開研究会に際し、専門領域に関わる大学院生が講師との交渉にあたった。また公開研究会に向けて、講師の著書、発表テーマに関連する論文等、大学院生が参考文献を選定し、事前学習をおこなった。</p> <p>公開研究会：2020 年 10 月 9 日（金）午後 6 時半～ 会場：沖縄大学本館 H104 教室 講師：賀数淳（本学大学院修了生、特別研究員） テーマ：唐手の発達と伝承から考察する「沖縄伝統空手」の定義 本学大学院修了生の賀数淳氏をお招きした。賀数氏は、沖縄県空手道連盟副理事長、沖縄県学生空手道連盟会長、沖縄大学空手道部総監督を務め、2018 年度に本学大学院を修了した。空手を研究する大学院生が企画に関わった。準備にあたっては、事前に賀数氏の特定課題研究を読み、質問事項を作成した。当日は、教員、特別研究員の参加を得て、大学院生とともに活発な討議がおこなわれた。</p> <p>公開研究会：2020 年 11 月 27 日（金）午後 6 時半～ 会場：沖縄大学本館 H104 教室と Zoom 併用 講師：秋山道宏（沖縄国際大学准教授） テーマ：『基地社会・沖縄と「島ぐるみ」の運動』を読む 沖縄国際大学の秋山道宏氏を招いて開催した。秋山氏は、社会学の視点から沖縄戦後史を研究し、昨年『基地社会・沖縄と「島ぐるみ」の運動』を出版された。沖縄戦後史を研究する大学院生が企画に関わり、準備にあたっては、事前に秋山氏の著書を読み、質問事項を作成した。当日は、コロナ感染防止策をとりながら教室で院生 2 名と教員 2 名が参加し、オンライン（Zoom）で特別研究員（法政大学教員など）の参加を得て、活発な討議がおこなわれた。</p> <p>公開研究会：2021 年 2 月 2 日（火）午後 6 時半～オンライン（Zoom） 講師：富田千夏（琉球大学附属図書館） テーマ：琉球の進貢と貿易 琉球大学附属図書館の富田千夏氏を招いて開催した。富田氏は、中琉交流史が専門で、『琉球王国接貢制度の研究』という博士論文がある。進貢貿易の進貢品を研究する大学院生が企画に関わり、準備にあたっては、事前に富田氏の論文を読み、質問事項を作成した。当日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンライン（Zoom）で開催し、教員、大学院生、学部生、特別研究員などの参加を得て、活発な討議が行われた。</p>
--	--

